

日朝関係新時代到来?

早急な拉致疑惑解明を求めるなら
広い視野と発想の転換が必要では?

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)による日本人拉致疑惑が解明されつつある。拉致されたとされる数人の日本人の面接や一時帰国も実現。金正日と日を敬愛し、朝鮮語で語る姿は異様としか言いようがない。そして、一連の拉致事件は北朝鮮のみによるものではなく、よど号事件のメンバー、一部のアメリカ人など、多くのスタッフがこの事件に加担している信憑性も高まった。もはや事態は北朝鮮、日本だけのものではない。韓国やアメリカ、よど号メンバーが潜伏しているであろうレバノン、そして社会主義国・中国など、国際レベルで問題を解決していくべきではないだろうか。

そして、もうひとつ重要なのは日本政府の姿勢。現在、日本は北朝鮮の被害を被っているという意識ばかりが先に立っているが、かつての朝鮮人・韓国人の強制連行、アジア諸国への侵略など、いまだ清算していない案件が山積みであることを忘れてはいまいか? 日本政府はかつての非人道的行為をしっかり認識した上で、改めて拉致疑惑解明や正常な国交を求めるべきである。日本政府さん、今こそ謝罪のチャンスです。

いまだよどきの歴史

一番新しい日本のページ

ノーベル賞の快挙!

京都の企業人にノーベル化学賞!!
優秀な人材の能力を引き出した環境は?



鳥津製作所の田中耕一氏がノーベル化学賞を受賞。43歳という異例の若さに加え、企業人初の受賞ということで話題をさらったのはご存知のとおり。

もともと彼の専門は電気分野で、レーザーでの分析の失敗をきっかけに生態関連物質の研究に入ったということ。自身、まったくの専門外がゆえに自由な発想で研究に取り組めたことと、なにかすれば必ず答えが出る実験を心から楽しんできたことが功を奏したと語っておられる。

中でも筆者が興味を持ったのは彼が研究者にしては早い7~8時に研究を切り上げているということ。長時間研究室にこもるのが常識の大学の研究室などとは違い、企業は勤務時間や残業手当にシビア。そして、もちろん研究の結果に対しては企業の方が断然シビア。今後も多くの企業人研究者が世の中から高評価を得ることが期待できそう。厳しいご時世にありながら、田中氏の能力を引き出す環境を用意した鳥津製作所にもノーベル優良企業賞をあげたいぞよ。



石油の奴隷

石油をめぐる命と石油のムダ遣い
この愚かな無限ループをただちに止めよ!

正義の名の元にアメリカが再び悪の枢軸国と名指したイラクを空爆。これが各国で波紋を呼んでいるのは、京都でも反対集会が行われており周知のこと。なんでここまでアメリカがイラクにこだわるのか? 理由はズバリ「石油」である。

国内産油量の減少で輸入石油への依存度が高まっているアメリカは、世界第2位の推定石油埋蔵量を誇るイラクに親米政権ができれば巨大油田への道が開かれると考えている。しかし、イラクに眠る石油を狙っているのはロシア、欧州も同じ。さらに欧州は国内に多数のイスラム系移民を抱えているから事情はなお複雑だ。力づくでイラクを制圧するわけにはいかない。徐々にアメリカと欧州連合の足並みが乱れつつあるのも当然のなりゆきと言えるだろう。要は世界を不幸にしているのは「石油」。戦争で多くの資源や尊い命を浪費する前に、石油に代わる新たなエネルギーを開発せよ。もしくはこれを機に日本は世界屈指の掘削技術売り込むかい?

彼の発明した次世代エネルギー開発に
最も協力的だったのは
産油国各国だったとか!

産油国各国だったとか!



次世代エネルギー開発に危機感を持っているのは
アメリカだけじゃない!



文◎大塚 祐希

1200年の古都・京都から、突然5000年前の超古都・イスラエルに渡り情報を発信中。一步距離を置いたところから今の日本、そして京都の今を見つめ、未来を切り開くことができるか? ウェブサイトは <http://www1.ocn.ne.jp/tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP <http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi>